

2027 年 3 月期 第 1 四半期 決算説明会資料

FY2027/3 First Quarter Financial Results Presentation

データセクション株式会社

2026 年 8 月 18 日 | 証券コード：3905（東証グロース）

目次

01

2027 年 3 月期 第 1 四半期 実績

FY2027/3 1Q Results

02

2027 年 3 月期 通期計画

FY2027/3 Full-Year Guidance

03

新株予約権の発行及び行使状況

Stock Acquisition Rights

04

Appendix

Supplementary Data

SECTION 01

2027 年 3 月期 第 1 四半期 実績

FY2027/3 First Quarter Results

01

連結業績ハイライト

売上高 6,327 百万円（前年同期比 +847.1%）・営業利益 4,843 百万円と大幅な増収増益
前年同期の営業損失▲ 342 百万円から黒字転換し、調整後 EBITDA は 5,029 百万円（マージン 79.5%）

売上高

6,327

百万円

+5,659

前期比 9.5 倍

営業利益

4,843

百万円

+5,185

黒字転換

調整後 EBITDA

5,029

百万円

+5,224

マージン 79.5%

営業利益率

76.5

%

+127.8pt

前年同期 ▲ 51.2%

（百万円）	27 年 3 月期 1 Q 実績	26 年 3 月期 1 Q 実績	差分	増減率
売上高	6,327	668	+5,659	+847.1%
営業利益	4,843	▲342	+5,185	—
調整後 EBITDA	5,029	▲195	+5,224	—
経常利益	5,011	▲317	+5,328	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,913	▲333	+4,246	—

※ 調整後 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 無形固定資産償却費 + 株式報酬費用 + M&A 関連費用

※ 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています

調整後 EBITDA（営業利益からの調整）

実質的なキャッシュ創出力を示す調整後 EBITDA は 5,029 百万円（前年同期▲ 195 百万円）

GPU サーバー等の減価償却費 134 百万円が最大の調整項目

（単位：百万円）



※ 調整後 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 無形固定資産償却費 + 株式報酬費用 + M&A 関連費用

※ 減価償却費 134 百万円は決算短信注記の開示値（無形固定資産に係る償却費を含む）。うち売上原価計上 110 百万円・ソフトウェア償却 16 百万円・販管費計上 6 百万円

※ 百万円未満切捨てのため、各調整項目の単純合計と調整後 EBITDA は一致しません

YoY 売上高比較（国内・海外別／連結）

国内売上高は 5,990 百万円と前年同期比 +1,261.6% に拡大

海外も +47.8% の増収となり、連結売上高は 6,327 百万円（前年同期比 +847.1%）

国内

26 年 3 月期 1 Q 27 年 3 月期 1 Q

439 → **5,990**

+1,261.6%

海外

26 年 3 月期 1 Q 27 年 3 月期 1 Q

228 → **337**

+47.8%

連結

26 年 3 月期 1 Q 27 年 3 月期 1 Q

668 → **6,327**

+847.1%

（単位：百万円）



※ 国内・海外は決算短信の報告セグメント情報における外部顧客への売上高、連結は四半期連結損益計算書の売上高です

YoY セグメント利益比較（国内・海外別／連結）

国内はセグメント損失▲81百万円から5,339百万円へ黒字転換

海外も +702.9% の増益となり、連結営業利益は 4,843 百万円と黒字転換

国内

26年3月期1Q

27年3月期1Q

▲81 → **5,339**

黒字転換

海外

26年3月期1Q

27年3月期1Q

6 → **51**

+702.9%

連結

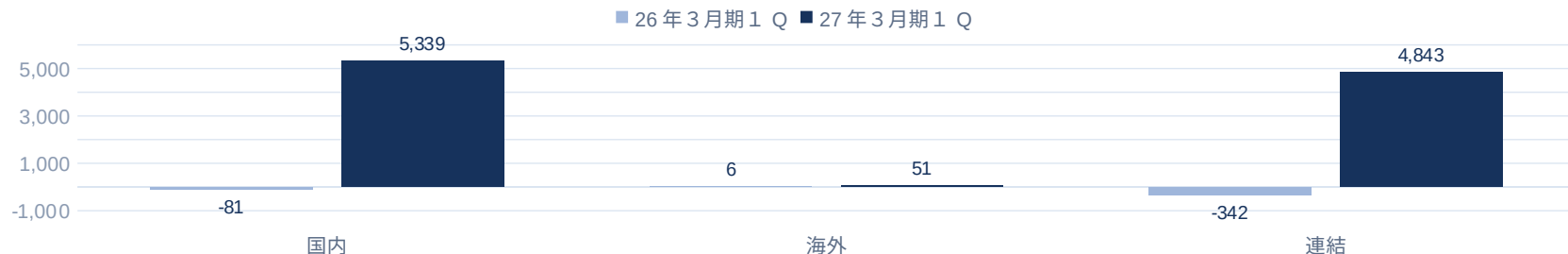
26年3月期1Q

27年3月期1Q

▲342 → **4,843**

黒字転換

（単位：百万円）



※ 国内・海外は決算短信の報告セグメント情報におけるセグメント利益、連結は四半期連結損益計算書の営業利益です

※ 国内 5,339 + 海外 51 = 5,390 百万円から、各セグメントに配分していない全社費用 547 百万円（前年同期 267 百万円）を控除した 4,843 百万円が連結営業利益です

四半期業績推移（連結）

2026 年 3 月期 3 Q 以降、AI インフラ事業の稼働により売上・利益が非連続に拡大
 27 年 3 月期 1 Q は売上高 6,327 百万円・営業利益 4,843 百万円

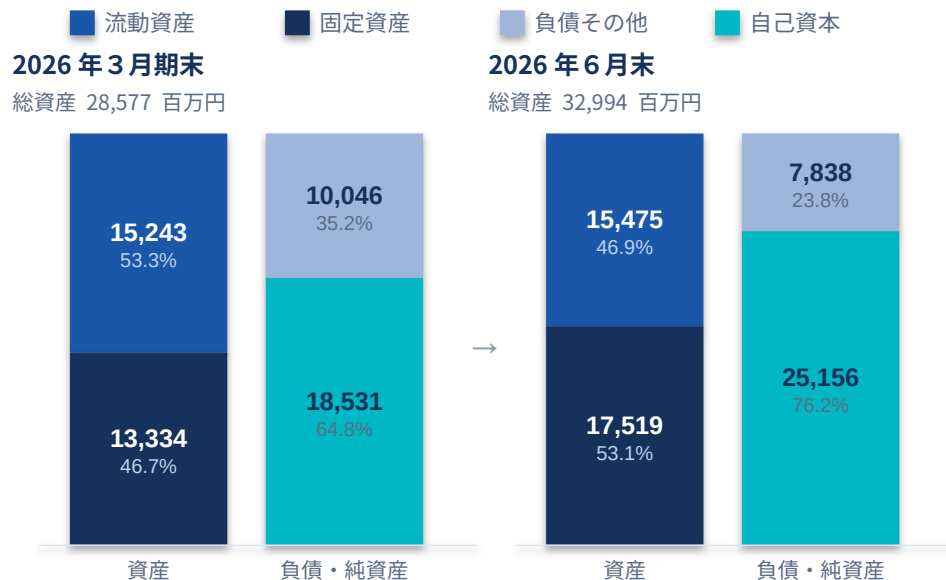
（単位：百万円）



※ 各四半期は連結ベース。売上高は左軸、営業利益は右軸。2026 年 3 月期 1 Q ～ 4 Q は公表済みの数値

連結財政状態（貸借対照表）

2026年6月末の総資産は32,994百万円と前期末比+4,417百万円。AIデータセンター投資（建設仮勘定+2,212百万円）が主因
自己資本は25,156百万円（+6,625百万円）、自己資本比率は76.2%



主要な増減要因（2026年3月期末比）

- 流動資産：+232
 - ・立替金：+1,861
 - ・未収還付消費税：+256
 - ・売掛金：▲2,393
- 固定資産：+4,185
 - ・建設仮勘定：+2,212
 - ・長期前払費用：+950
 - ・差入保証金：+663
- 負債その他：▲2,208
 - ・預り金：▲3,040
 - ・未払法人税等：+626
 - ・未払金：+306
- 自己資本：+6,625
 - ・資本金：+1,380
 - ・資本剰余金：+1,380
 - ・利益剰余金：+3,913

※ 単位：百万円。負債その他＝負債合計＋新株予約権＋非支配株主持分。金額は百万円未満を切り捨て

データセクションの AI インフラ戦略

日本企業として唯一、大規模 AI クラスターの構築を推進。アジア・パシフィックにおける“ネオ・クラウド”事業者としての地位を確立



GPU の大量確保

サプライヤーとのパートナーシップ戦略により、B200 / B300、GB200/300 を継続的に確保



電力供給の確保

顧客需要を受け、国内外で DC サイト契約を締結し電力供給枠を先行確保



顧客の確保

グローバルの AI 事業者・研究機関との接点を拡大し、稼働前から需要を積み上げ



「TAIZA」による運用力

大規模クラスターの運用を可能とする自社基盤。グローバル顧客のテストで高評価

特殊な地政学的環境下において、日本で世界規模の AI インフラを構築することで、デジタル赤字を改善し、あらゆるセクターでの経済成長を後押しする

【再掲】 AI インフラ プロジェクト・パイプライン

2027 年 3 月期の業績予想には、プロジェクト A～C 及び同顧客への追加サービス提供分を含みます
2026 年 5 月 18 日時点の計画。最新の進捗は第 1 四半期決算短信の公表後に更新します

プロジェクト	GPU	数量	地域・備考
プロジェクト A	B300	5,000 個	日本
プロジェクト B	B300	10,000 個	オーストラリア（30,000 個まで段階的に拡大）
プロジェクト C	B200	5,000 個	タイ
プロジェクト D	GB200/300	70,000 個	1,000 ラック規模
プロジェクト E	GB200/300	100,000 個	1,500 ラック規模
プロジェクト F	B300	30,000 個	場所は調整中
プロジェクト G	B200	5,000 個	日本
プロジェクト H	B200	5,000 個	日本
プロジェクト I	B300	70,000 個	UAE

※ 上記は 2026 年 5 月 18 日時点の計画であり、確度・時期は今後変動する可能性があります

トピックス① | OpenAI との協業で TAIZA の AI 機能を強化

OpenAI API を活用し、「TAIZA AI Cloud Platform」のエージェント型 AI ワークフロー機能を強化
アジア太平洋地域におけるエンタープライズ AI の本格活用を、両社で共同して推進

DATA SECTION

× OpenAI

アジア太平洋のエンタープライズ AI 活用を共同で推進 / API 連携を超えた協業の可能性についても対話を継続



石原 CEO（左）と OpenAI Japan 長崎社長（右）

“ TAIZA を通じて、企業が高度な AI 能力を実用的かつ管理された形で重要な業務プロセスに展開することを支援します。本連携はアジア太平洋におけるエンタープライズ AI の普及拡大に貢献する重要なマイルストーンです。

石原 紀彦

代表取締役社長執行役員 CEO

“ 企業の AI 活用は実証段階から、事業変革を伴う本格運用へと着実に進んでいます。データセクションとの協業を通じて、企業の AI 運用展開がより広がることを期待しています。

長崎 忠雄

OpenAI Japan 合同会社 社長

※ TAIZA の顧客は OpenAI API やモデルエンドポイントに直接アクセスするものではなく、API キーの提供や汎用的な API 利用は含まれません

トピックス② | ASRock Rack 社とのパートナーシップでタイ DC 構築を加速

台湾の高密度・高性能サーバーメーカー ASRock Rack Incorporation との連携を強化
NVIDIA B200 搭載サーバー 587 台（GPU 4,696 個）を取得し、タイの AI データセンターに導入

DATA SECTION

× ASRock Rack

ティア1サーバーメーカーとの連携により、次世代 AI データセンターの構築を加速

導入サーバー台数
(台)**587**

NVIDIA B200 搭載

GPU 数（合計）（個）

4,696

Blackwell 世代

設置先

タイ

バンコク近郊

1

希少な高性能 GPU サーバーの安定確保

確立されたサプライチェーンを通じて優先的に確保し、納期遅延リスクを最小化

2

世界最高水準の技術支援

高密度実装ノウハウにより、B200 の性能を最大化しつつ省電力な冷却を実装

3

グローバル市場における信頼性

ティア1メーカーとの連携が、品質と安定供給体制を裏付け

※ 米国大手企業向けの専用計算基盤として稼働予定。タイの国家戦略「Thailand 4.0」及び AI 国家戦略（フェーズ2：2024～2027 年）を背景に、2025 年 12 月 22 日付で公表した計画を具体化するもの

トピックス③ | 元米国務次官がアドバイザリーカウンスルに就任

2026 年 6 月 1 日付で、元米国国務次官（民間安全保障・民主主義・人権担当）が当社アドバイザリーカウンスルに就任
グローバル事業展開の強化と、経営方針・グローバル戦略における意思決定の高度化を図る

2026 年 6 月 16 日付



Paula J. Dobriansky, Ph.D.

データセクション株式会社
アドバイザリーカウンスル メンバー

1 現職

アトランティック・カウンスル スコウクロフト戦略安全保障センター 副会長／ハーバード大学ベルファー科学国際問題研究所 シニアフェロー

2 経歴

国務次官、NSC 欧州・ソ連問題担当ディレクター、国務副次官補（人権担当）、北アイルランド担当大統領特使を歴任。国務省功労賞を受賞

3 当社での役割

30 年以上にわたる米国政府での外交経験を活かし、当社のグローバル展開において重要な役割を担う

「先端技術とデータ駆動型ソリューションは、持続的な経済成長と国際競争力の重要な原動力です」（Dobriansky 博士）

トピックス④ | AI デバイス「OHMAI」を VivaTech 2026 で世界初公開

現地時間 2026 年 6 月 17 日、パリ「Viva Technology 2026」にてグローバルローンチを発表。石原 CEO が Stage One に登壇
複数の主要 AI モデルを 1 つの体験に統合する、手のひらサイズの次世代 AI デバイス

2026 年 6 月 17 日付



1 アカウントで複数の主要 AI にアクセス

個別ログインや API キー管理を不要に

2 「TAIZA」によるスマートルーティング

最適な AI モデルを自動で選択・処理

3 画面を超えた物理的プレゼンス

デスクに置く環境型の存在として自然に対話

4 日常のワークフローを前へ進める伴走者

作成・推敲、リサーチ、要約、語学学習を支援

米国・欧州・日本を皮切りに段階展開し、中長期的には「パーソナル AI OS」の基盤確立を目指す

※ ラインナップは OHMAI Light と OHMAI Pro の 2 機種。ウェイティングリストの登録受付を開始（<https://ohmai.com>）。VivaTech は来場者約 18 万人・出展スタートアップ 14,000 社の欧州最大級テックイベント

トピックス⑤ | タイ政府「Thailand FastPass」認定及び BOI 投資承認を取得

タイで設立中のデータセンター投資が、政府の大型投資加速プログラム「Thailand FastPass」に認定あわせて、タイ投資委員会（BOI）より AI インフラ事業に係る投資承認を取得



タイ王国政府による公式認定

Thailand FastPass 認定

BOI 投資承認

■ 「Thailand FastPass」認定（2026 年 6 月 24 日付）

1 政府による投資円滑化プログラムに認定

国家利益に大きく貢献する戦略的産業の大規模投資を迅速に実行するための制度

2 8つの政府機関から包括的な行政支援

BOI、環境天然資源政策計画局、税関局、工業局、タイ工業団地公社、エネルギー規制委員会事務局、首都電力公社、地方電力公社

3 2026 年 6 月 23 日 タイ首相府にて授与式

アヌティン首相、エークニティ副首相兼財務大臣、ナリット BOI 事務局長が出席

■ BOI 投資承認の取得（2026 年 7 月 10 日付）

1 AI インフラ事業に係る投資承認を取得

「タイの先端エレクトロニクス・デジタル分野のバリューチェーン高度化に貢献するプロジェクト」として承認

2 高付加価値分野の大型 9 案件の一つ

AI、先端エレクトロニクス、航空、クリーンエネルギー、食品等の分野で BOI が承認した大型投資案件に選定

3 タイの政策目標との整合

高付加価値産業の育成というタイの政策目標に合致し、周辺地域を含む AI 基盤の提供を目指す

許認可等の行政手続きが大幅に短縮され、タイの AI データセンターの早期稼働開始が可能に

トピックス⑥ | 連結子会社（Jach Technology）の株式譲渡を決議

AI インフラ事業への経営資源の集中と事業ポートフォリオの最適化のため、南米で「FollowUP」を展開する Jach 社の全株式を譲渡
譲渡先は Jach 社経営陣による MBO 目的会社。対象会社は 2027 年 3 月期第 2 四半期連結会計期間より連結子会社から除外

譲渡価額（千 USD）

6,737

約 1,082 百万円

譲渡対象会社（社）

7

Jach 社 + 子会社 6 社

特別利益（連結）（百万円）

100–300

個別決算では 10 億円前後

連結除外

2Q

2027 年 3 月期第 2 四半期より

■ 株式譲渡の理由

1

AI インフラ事業への経営資源の集中

戦略的コア事業である AI インフラ事業と高シナジー事業へ経営資源を重点配分

2

Jach 社経営陣による MBO

さらなる事業成長には迅速な経営判断と機動的な事業運営が重要であり、Jach 社経営陣が主体となる体制が最適との提案を受領

3

双方の企業価値向上に資すると判断

Jach 社の企業価値向上と当社の経営資源の最適配分の双方に資すると判断

取引の概要

譲渡先	Practicando SpA（チリ・MBO 目的会社）
譲渡株式数	8,914,106,430 株（議決権 100%→0%）
価額算定	第三者算定機関のレンジ 6,391 ～ 7,304 千 USD 内で決定
債務引受	取引先向け債権 1,355 千 USD 相当の債務を譲渡先が引受
日程	6 月 29 日 取締役会決議 / 7 ～ 8 月中に譲渡（予定）

※ 円換算は 1USD = 160.72 円（2026 年 7 月末日 TTM）。対象会社は本資料の「海外」区分に含まれる 7 社です。業績への影響は精査中です

トピックス⑦ | 国内第 1 号 AI データセンターに B300 サーバーの搬入を開始

2026 年 5 月 7 日付で公表した Compal Electronics, Inc. との売買契約に基づき取得した GPU サーバーの搬入を開始
内装・電気・空調等の設備工事は概ね完了し、搬入済みのサーバーから順次、設置及びセットアップを実施

2026 年 7 月 17 日付



国内第 1 号 AI データセンターに搬入された GPU サーバー

取得元 **Compal** Electronics, Inc.
NVIDIA 製 B300 (5,080 個) 搭載サーバー 635 台一式

1

国内第 1 号 AI データセンターへの搬入開始

NVIDIA 製の最新 GPU 「B300」を搭載した GPU サーバーの搬入を開始。設備工事は概ね完了

2

順次、設置及びセットアップを実施

搬入済みのサーバーから順に設置作業を進め、稼働開始に向けた準備を着実に推進

3

稼働後は高性能 AI インフラを提供

大規模な計算リソースを要する生成 AI モデルの開発や、高度な HPC ワークロードに対応

4

アジア太平洋での構築を加速

国内及びアジア太平洋地域を中心に AI データセンターの構築を加速し、提供体制を拡充

トピックス⑧ | Wolfpack Research 社等に対する訴訟の提起

2026 年 7 月 31 日（米国時間）、米国ペンシルベニア州東部地区連邦地方裁判所において Wolfpack Research, LLC 等に対する訴訟を提起しました
当社の GPU 調達が米国の輸出管理規制に違反するとの記事の主張に該当する事実はなく、記事の取下げと損害賠償等を求めます

2026 年 8 月 3 日付

訴訟の概要

提訴年月日	2026 年 7 月 31 日（米国時間）
裁判所	米国ペンシルベニア州東部地区連邦地方裁判所
被告	Wolfpack Research, LLC 及びその関係法人・関係者等
請求の内容	本件記事の取下げ、損害賠償請求等
請求金額	未定

■ 当社の輸出管理コンプライアンス

- 1 GPU に係る米国輸出管理規則の厳格遵守**
最も保守的なスタンスを採用し、提供先・方法を厳格に限定しています
- 2 米国及び国内の外部弁護士の確認を経て推進**
各プロジェクトは外部専門家の確認を受けたうえで実行しています
- 3 記事の主張に該当する事実はない**
複数回の協議において誠意ある回答が得られなかったため、提訴に至りました

GPU に係る米国輸出管理規則の厳格遵守
輸出管理上、最も保守的なスタンスを堅持します

※ 2026 年 8 月 3 日付「訴訟提起に関するお知らせ」に基づきます。本件記事は 2025 年 10 月 8 日付の当社開示で公表済み。今後の訴訟の経過は必要に応じて開示します

トピックス⑨ -1 | 「TAIZA MATE」発表とインテリジェンスの民主化

2026 年 8 月 6 日、次世代 AI プラットフォーム「TAIZA」発表記者会見を開催。「TAIZA MATE」のウェブ・デスクトップ・モバイルを発表済の AI デバイス「OHMAI」と併せ、誰もが世界最先端の AI にアクセスし、ワークプロセスを AI 化できる環境を提供

いつでもどこでも AI へアクセス 「TAIZA MATE」3 形態を新たに発表し、AI への入口を 4 つに拡張

今回発表

個人・チーム・企業

TAIZA MATE

誰でも使いやすい AI プラットフォーム

ウェブ

ブラウザ完結の共同編集・承認
インストール不要／マルチデバイス

デスクトップ

Windows / macOS
組織管理・デジタル社員
AI 人材マーケット

モバイル

iOS / Android
音声・OCR・生体認証・MDM 対応

世界の最先端モデルへ横断アクセス

発表済（2026 年 6 月）
生活のあらゆる場面

OHMAI

声だけで AI を操作

- 手のひらサイズの AI サイドキック
- 専用ハードウェア／現場常設型
- 画面もキーボードも不要

インテリジェンス（AI）の民主化
コーディング不要、専門知識不要、誰もが簡単に使える AI

※ 2026 年 8 月 6 日開催の記者会見「次世代 AI プラットフォーム『TAIZA』発表」で公表した内容。「OHMAI」は 2026 年 6 月 17 日に VivaTech 2026 で世界発表済

トピックス⑨ -2 | GPUaaS から TOKENaaS へのビジネスモデルの発展

GPUaaS で築いた計算基盤の上に「TAIZA」を重ね、トークン単位で AI を提供する TOKENaaS へ事業を拡大・発展
GPUaaS はインフラ事業として売上規模が大きく、TOKENaaS はプラットフォーム事業として資本効率が高い

AI 計算基盤

GPUaaS 継続

大規模 GPU クラスターを、ハイパースケーラーやモデル開発企業へ
時間単位で提供

TAIZA

AI 経済圏

TOKENaaS 拡大

あらゆる顧客へ、AI が消費する「トークン」単位で AI サービスを
提供

DS ビジネスモデルの拡大・発展 顧客・市場・拡張性・利益率のいずれもが改善

事業特性のイメージ	GPUaaS インフラ事業（継続）	→	TOKENaaS プラットフォーム事業（拡大）
主な顧客	CSP・基盤モデル企業	→	政府・企業・個人
対象市場	AI インフラ	→	AI エコノミー全体
拡張性	GPU 容量に制約される	→	AI の普及とともに拡大
売上総利益率（参考値）	20 ～ 35%	→	70 ～ 90%

高成長と収益性の向上を同時に追求できる

※ 2026 年 8 月 6 日開催の記者会見「次世代 AI プラットフォーム『TAIZA』発表」で公表した内容。GPUaaS は今後も継続して提供します。売上総利益率は事業特性のイメージであり、業績予想ではありません

トピックス⑨ -3 | TAIZA 提供形態の拡大と現在地

2026 年 8 月、次世代 AI プラットフォーム「TAIZA」を発表しました

GPUaaS 単独から、Token・Agent・Enterprise までを一体で提供する体制へ、一度に 3 つの提供形態が加わります

01 GPUaaS

大規模 GPU クラスターを時間単位で提供。アジア最大級の New Cloud に

提供開始（2025 年 9 月）

02 TOKENaaS / Model API

OpenAI を含む、あらゆるモデルへ TAIZA 経由でアクセス

2026 年 8 月発表

03 Agent-as-a-Service

数万単位の AI Agent を TAIZA 上で提供

2026 年 8 月発表

04 Enterprise TAIZA

「TAIZA MATE」により企業の AI ワークフローを構築

2026 年 8 月発表

05 Sovereign / Private TAIZA

政府・大企業向けの専用環境を提供

2026 年内 案件獲得目標

インフラから Agent まで、一体で提供する総合的 AI プラットフォームへ

出所：2026 年 8 月 6 日開催の記者会見「次世代 AI プラットフォーム『TAIZA』発表」。05 は今後の目標であり、実現時期は変動する可能性があります

【再掲】 2026 年 3 月期に公表した主要トピックス

2026 年 3 月期決算説明会資料で公表した主要トピックスの概要

2026 年 5 月 7 日付

Compal 社より NVIDIA B300 搭載 GPU サーバーを取得

国内第 1 号 AI データセンター向けに、NVIDIA 製 B300（5,080 個）搭載の GPU サーバー 635 台一式を取得。取得金額は 325 百万 US ドル（約 50,935 百万円）

2026 年 5 月 12 日付

GPU サーバー取得資金の独占的アレン ジメント契約を締結

運用資産 1,000 億 US ドルのグローバル投資会社を独占的な主幹事兼アレンジャーとして選任し、総額 5 億～10 億米ドル規模の資金調達を目指す

2026 年 2 月 10 日付

National Pulse Group と MENA 地域 AI インフラ構築の覚書を締結

UAE 及びその他中東・北アフリカ地域における国家レベルの AI インフラ構築を共同で検討。想定電力規模は 150 ～ 180MW 級

※ 詳細は 2026 年 3 月期決算説明会資料をご参照ください

SECTION 02

2027 年 3 月期 通期計画

FY2027/3 Full-Year Guidance

02

2027 年 3 月期 通期業績予想（据え置き）

2026 年 5 月 15 日に公表した通期業績予想から変更はありません

追加受注案件の解約に伴う減少は、その他大型見込パイプラインの受注計画により補うことが可能と判断

売上高（億円）

1,621

前期比 +382.6%

営業利益（億円）

248

前期比 +600.1%

調整後 EBITDA（億円）

581

前期比 +1,283.6%

（百万円）	26 年 3 月期 実績	27 年 3 月期 予想	差分	増減率
売上高	33,605	162,193	+128,588	+382.6%
営業利益	3,544	24,815	+21,270	+600.1%
調整後 EBITDA	4,205	58,191	+53,985	+1,283.6%
経常利益	3,627	12,542	+8,915	+245.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,801	8,704	+5,902	+210.7%

※ 本予想は 2026 年 5 月 15 日公表時点の前提に基づきます。追加受注案件の解約に伴う前提の変化は次頁をご参照ください。M&A 等による収益は含みません

通期業績予想の前提の変化

2026 年 5 月 15 日公表の通期業績予想は据え置き。一方、予想の前提には以下の変化が生じています

日本

NVIDIA B300 5,000 個

フル稼働の開始見込時期に遅れ

オーストラリア

NVIDIA B300 10,000 個

フル稼働の開始見込時期に遅れ

タイ

NVIDIA B200 5,000 個

フル稼働の開始見込時期に遅れ

追加受注案件

2026 年 4 月 1 日に遡及して解約

手数料 5,578 百万円のみを計上

(百万円)	当初前提	現在の状況
国内・豪・タイ 第 1 号 DC 案件	78,861	2026 年 8 月～ 2027 年 3 月の 8 か月稼働を想定。フル稼働の開始見込時期に遅れ
同顧客への追加サービス提供分	79,864	2026 年 4 月 1 日に遡及して解約。案件組成・紹介手数料 5,578 百万円を第 1 四半期に計上
その他大型見込パイプライン	—	上記の減少は TAIZA 関連の受注計画により補うことが可能と判断
通期業績予想 売上高	162,193	2026 年 5 月 15 日公表から変更なし（据え置き）

※ 上記 AI データセンター案件やその他大型見込パイプラインの進捗状況により、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示します

SECTION 03

新株予約権の発行及び行使状況

Stock Acquisition Rights

03

第 23 回新株予約権（行使価額固定型）の行使状況

2026 年 8 月 14 日時点の累計行使株数は 13,792,900 株（発行総数の 31.34%）、累計払込金額は 17,241 百万円
四半期末後の 2026 年 7 月 23 日・8 月 12 日の行使は後発事象として認識しています

発行総数に対する累計行使割合（2026 年 8 月 14 日時点）

31.34% / 未行使 68.66%

累計行使 13,792,900 株

2026 年 8 月 14 日時点

累計行使株数

13,792,900
株

累計払込金額

17,241
百万円

行使価額

1,250
円

権利行使期間 満了

2026/10/19

本新株予約権による調達資金は、AI インフラ事業における GPU サーバー取得及びデータセンター整備の原資として充当

※ 発行総数 44,000,000 株に対する割合。行使価額は 1,250 円で固定。未行使残は 30,207,100 株

※ 【後発事象】 2026 年 7 月 23 日に 2,613,600 株、8 月 12 日に 2,969,300 株が追加行使され、行使後の発行済株式総数は 37,599,951 株、資本金は 13,407 百万円となりました

SECTION 04

Appendix

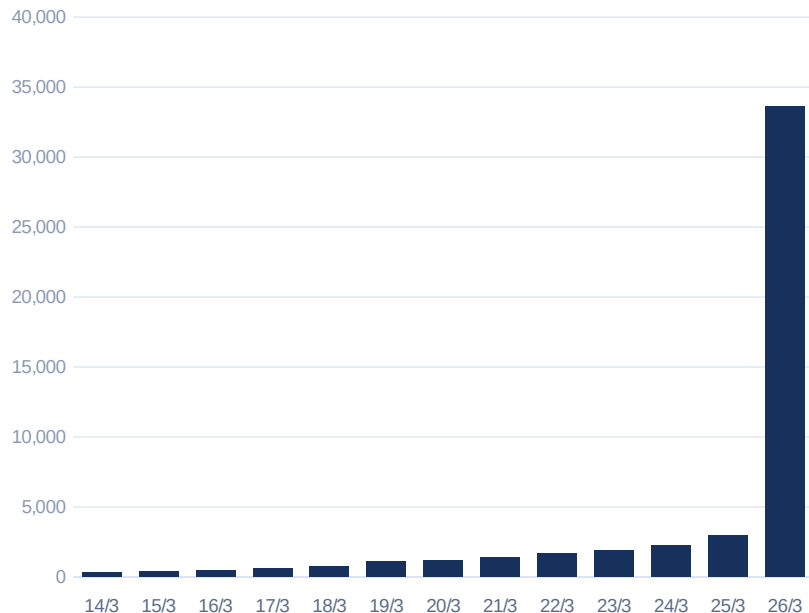
Supplementary Data

04

連結業績の長期推移（売上高・営業利益）

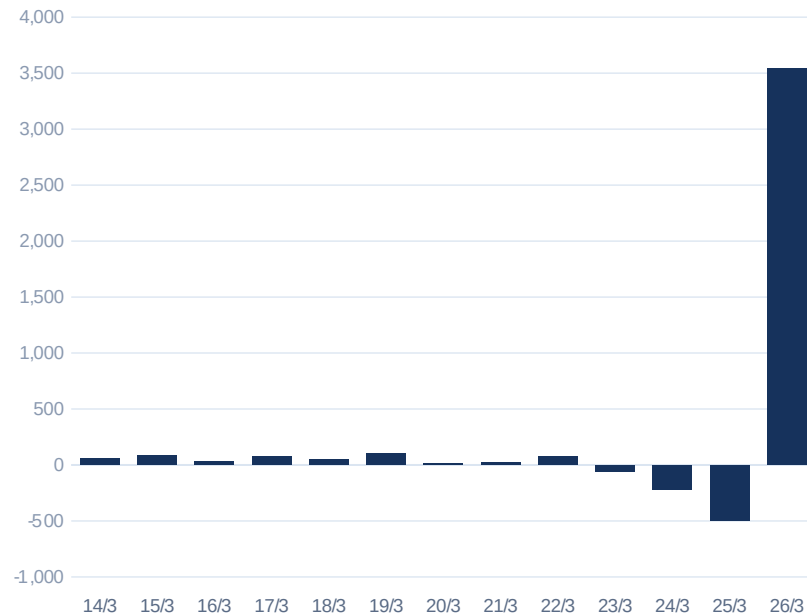
売上高

（単位：百万円）



営業利益

（単位：百万円）

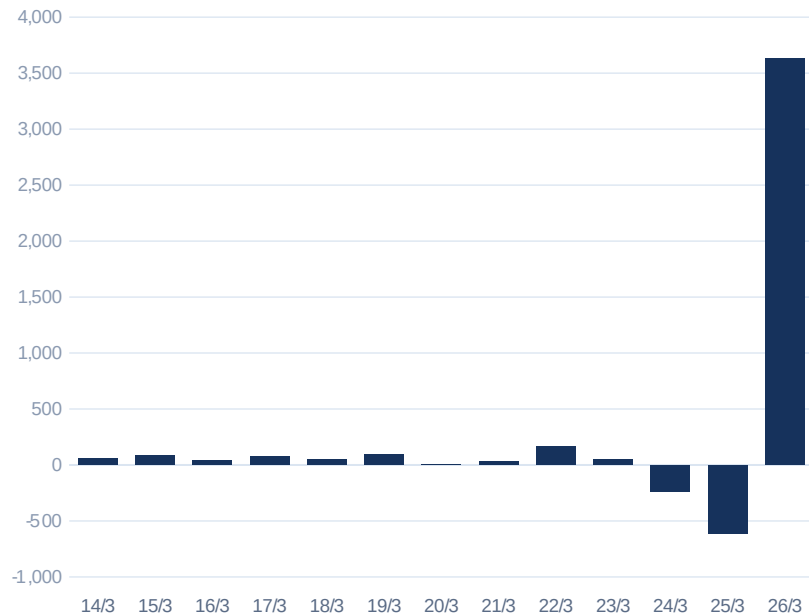


※ 各年度は連結ベース。2026年3月期はAIインフラ事業の本格稼働により非連続に拡大

連結業績の長期推移（経常利益・親会社純利益）

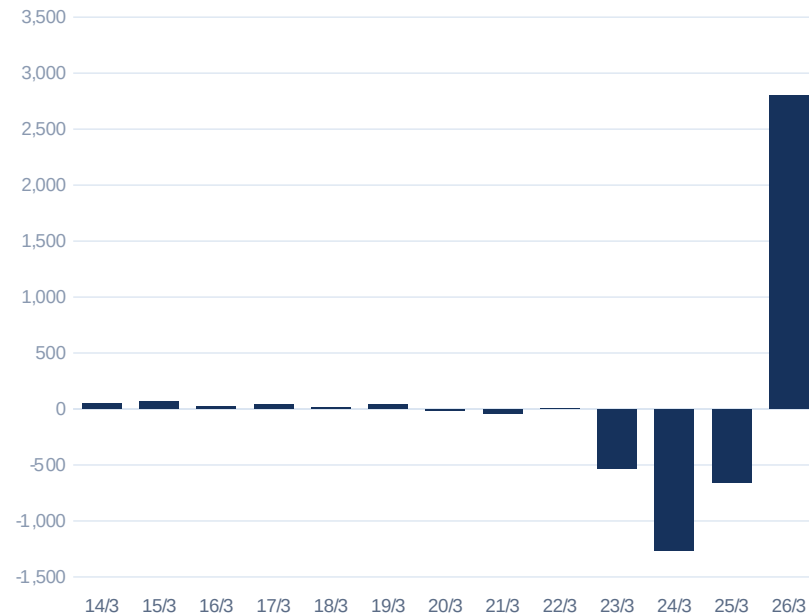
経常利益

（単位：百万円）



親会社株主に帰属する当期純利益

（単位：百万円）



※ 各年度は連結ベース。2026年3月期はAIインフラ事業の本格稼働により非連続に拡大



データセクション株式会社

Datasection Inc. （東証グロース： 3905 ）

所在地 〒 141-0031 東京都品川区西五反田 1 丁目 3-8 五反田 PLACE 8 階

IR お問い合わせ ir@datasection.co.jp ／ 050-3649-4858

Web <https://www.datasection.co.jp>

注意事項

- ・本資料は投資家の参考に資するため、当社の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- ・当資料に記載された内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- ・本資料の連結数値は2027年3月期第1四半期の連結決算パッケージに基づいており、決算短信の公表数値と一致します。金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。
- ・本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- ・上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しで、リスクや不確実性を含んでおり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。従いまして、これらの業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。